

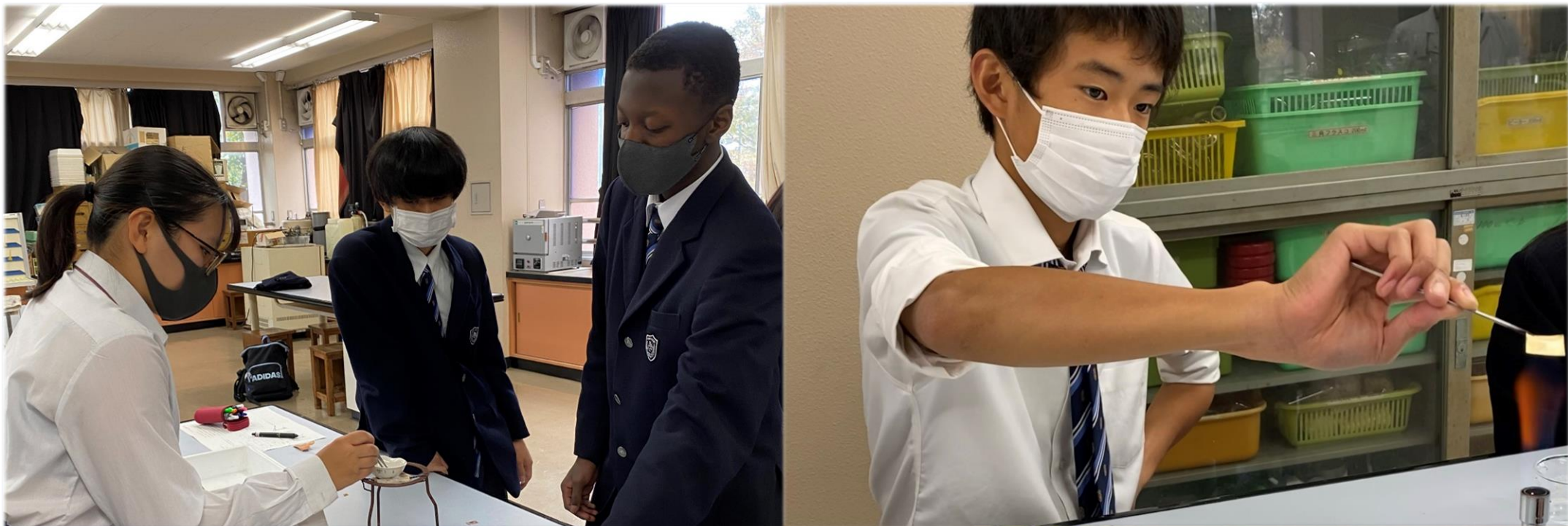
体験Ⅰ 科学



日常を科学する。体験Ⅰ「科学」後期のまとめです。



物質の種類と形状によって、燃焼の仕方が異なることを確認しました。左上が鉄粉の燃焼、それ以外が銅線を用いたバイルシュタイン反応（銅と塩素の反応）の様子です。



物質の珍しい性質を確認しました。上段が銅板を亜鉛メッキで金色にした様子、下段が硫黄をトゲトゲの単斜硫黄（結晶）とブヨブヨのゴム状硫黄にした様子です。



気体の燃焼性を確認しました。燃焼性をもつ気体の中でも、都市ガス（メタン）、ガスボンベ（ブタン）、水素では燃焼の仕方が異なることに驚いていました。



粘性と弾性を確認しました。左側が湯温とホウ砂の量を変えてスライムの粘性を確認している様子、右側が遠心力によって弾性のある輪ゴムを転がしている様子です。



植物細胞の構造を確認しました。上段が細胞分裂期の染色体（遺伝子を含む構造体）を、下段が細胞内小器官である葉緑体を観察している様子です。